

## 平成30年度 第1回 教育委員会議事録

### 1 開催日及び場所

平成30年4月25日（水） 午後1時30分から午後2時05分

山県市役所3階 301会議室

### 2 議事日程

日程第1 前回議事録の承認

日程第2 議事録署名者の指名

日程第3 教育長の報告

日程第4 議第1号 平成30年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会の設置について

日程第5 議第2号 平成30年度山県市一般会計補正予算（教育予算）について

日程第6 その他 山県市教育委員会教育長職務代理者の指名について

### 3 出席者

教育長 伊藤 正夫

教育長職務代理者 藤岡 功

委員 川田 八重子

委員 江崎 由里香

委員 大野 良輔

事務局 学校教育課長 鬼頭 立城

生涯学習課長 土井 義弘

図書館・文化の里館長 山田 和哉

中央公民館長 堀 邦利

学校教育課主幹 恩田 拓充

#### 4 会議次第

(午後1時30分開会)

藤岡職務代理者 ただいまより、平成30年度第1回教育委員会を開催いたします。

日程第1、前回議事録の承認について。

事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） 日程第1、前回の議事録の承認について。

委員の皆様には、前もって議事録を送付させていただいておりますので、要点のみ説明させていただきます。

資料ナンバー1をご覧ください。

平成29年度、第10回教育委員会を平成30年3月23日、金曜日、午後2時から午後3時まで、山県市役所3階、301会議室において開催いたしました。

出席者は、教育委員3名、教育長、事務局4名で、欠席者は、藤岡委員と事務局の堀公民館長でした。

会議は、第8回及び第9回の議事録の承認、議事録署名者が指名され、教育長から旧伊自良湖荘のリニューアルオープニングセレモニーが開催されたことなど3点の報告がありました。

議事としまして、平成30年度山県市教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免についてなど8議案を審議のうえ決定いたしました。

以上でございます。

藤岡職務代理者 ただ今、事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

ご質問が無いようですので、前回議事録の承認について、承認します。

藤岡職務代理者 続きまして、日程第2、議事録署名者の指名について、今回は、川田委員を指名します。

川田委員 はい。

藤岡職務代理者 続きまして、日程第3、教育長の報告について、伊藤教育長に報告を求めます。

教育長 3点ほどお願いします。

1点目は、先日入学式がありまして、不登校を心配していた子供もいた訳ですが、そのような子供たちもほとんどが登校できたということで、無事にスタートすることができたということをご報告いたします。

2点目は、藤岡委員が5月14日に任期満了で退任されますので、後任として大桑の千葉純さんに委員をお願いいたします。正式には、5月の臨時議会で議会の同意を得てからの任命となります。千葉さんは大桑の妙楽寺のご住職で小学生から高校生までのお子さんを持つ保護者でもあり、今年度は岐山高校のPTA会長を務められるとのこと。任期の関係で5月15日に新委員の任命を行いたいと思っております、同じ日に会議を開催したいと思っておりますので、ご予約の方をお願いいたします。

3点目は、情報提供ですが、今「AI vs 教科書を読めない子どもたち」という本が話題になっております。昨日、教職員の研修会がありまして、その中でも話をしましたが、今少しやってみますが、スマートフォンのSiriで「イタリア料理以外のレストラン」という検索をしてみます。するとこのように、高富のピザ屋さんが最初に出てきます。その後にもイタリア料理関係が一覧で出てきています。質問はイタリア料理以外と言っていますから、これは間違いなのです。つまりAIというのは意味が分かって答えを出している訳ではないということです。イタリア料理とレストランというキーワードのみで検索をかけているので、以外というものが抜けています。人間に同じような質問をすれば、このような間違いはしません。ですから今後人間がAIと闘っていくためには、意味を理解して対応していくことが必要であるということです。この本の著者は「ロボットは東大に合格できるか？」というプロジェクトチームのリーダーの方ですが、この方の結論としては、合格できないとなっております。AIはキーワードだけで答えを出しますが、人間はその知識の中から意味を理解したうえで検索して答えを出します。ですから人間が力をつけなければならないのは、そのような部分であり、その部分で力をつけないと機械には勝てないといっています。今お配りした資料に例題がありますが、「メジャーリーグの選手のうち28%はアメリカ合衆国以外の出身の選手であるが、その出身国を見るとドミニカ共和国が最も多くおよそ35%である」という文章に

当てはまるものを次の4つのグラフの中から選ぶというもので、正解は2番のグラフですが、この問題を正解した中学生が12%しかいなかったとのこと。4分の1の選択ですから確率からして25%はあってもいいものが、一生懸命考えて出した答えがそれよりも低いということになっています。間違えた中で多かったのは4番を選択したもので、よく見ると4番は、アメリカ合衆国28%、ドミニカ共和国35.4%となっていますから、そのことだけを見て答えを出すと4番となってしまいます。先ほどのSiriと同じことです。「以外の」とか「そのうち」とかの言葉がしっかり理解できる力をつけていかなければいけないということをいっています。次の「公園に子どもたち集まっています。男の子も女の子もいます。よく観察すると、帽子をかぶっていない子どもは、みんな女の子です。そして、スニーカーを履いている男の子は一人もいません」で正しいといえるものを選ぶ問題は、大人でもほとんどで正解する人がいません。正解は1番の男の子はみんな帽子をかぶっているだけが正しいといえることで、2番、3番は必ず正しいとはいえないものです。文章は帽子をかぶっていない子どもを見た時、それが全員女の子であった、男の子は全員スニーカーを履いていないといっているだけです。1人でも帽子をかぶって、スニーカーを履いている女の子がいたら、2番の帽子をかぶった女の子はいないも、3番の帽子をかぶって、スニーカーを履いている子どもは一人もないも正しくありません。これもいろいろな意味を理解して解いていかないと難しいという問題です。今後授業でPepperくんを使ってプログラミングの体験をしていきますが、そのような体験をより意味のあるものにするためには、日頃から論理的に読解できることや状況を推測できることを大事にしていかないと、体験だけで終わってしまうというようなことが書いてあります。難しいことが書いてありますが、自分なりに解釈するとそのようなことが書いてあると思いました。1つご紹介ということでお話しさせていただきましたので、興味がありましたらお読みください。

以上でございます。

大野委員

これはテキストみたいなものがあるのですか。

教育長 数学者のチームが問題を作って、全国の何千人という子供たちに解答させ、自分たちで採点し、どうしてこのような間違いを起こすのかを分析したようです。資料の問題はその一部です。昨日の教職員研修会でも同じものを使いましたが、先生方もほとんど正解できませんでした。

江崎委員 数学の集合を使うと解きやすいのではないですか。

教育長 今、学校では集合をやらないですから。例えば図を描いて解いてみるとか、そういった手がかりを探っていく習慣をつけることも大切かなと思います。

川田委員 これから Pepperくんは、どのように使われる予定ですか。

学校教育課長 最初のうちは、あいさつ運動で受け答えをしながら体験するというところを行いたいと思います。次に実際にプログラミングをして、動かしてみ、違っていた所を直すというようなことを行っていきたくと思っています。プログラミングといっても、難しいものではなくて、言葉でできます。

教育長 大切なのは自分の作ったプログラミングで、自分の思ったとおりに動かなかった時に、どこが違っていたかを見つけて、直すことができることです。

川田委員 プログラミングは、Pepperくんの前についている画面で行うのですか。

学校教育課長 はい、そちらでもできますし、パソコンやタブレットでもできます。小学校4年生以上の授業カリキュラムにありますので、それを活用しながら行っていきます。

教育長 間違えたからといってあきらめるのではなく、自分のプログラミングのどこが違って、どこを直せばうまくいくかを分かる子どもにしていくことが一番大事なことです。そのようなことができればよいと思っています。

川田委員 そのことは、どの授業でやられるのですか。

学校教育課長 基本的には総合的な学習の時間が主なものになると思います。

江崎委員 分野としては、中学校でいう情報の時間になるのですか。

教育長 プログラミング教育というのは、全教科になります。どこかの教科に入れるのではなくて、例えば論理的に段階をふんだことのどこかの段階で間

違えたということは、算数でも計算の問題の解き方を丁寧に書かせれば、間違えた解答になった時、どこで間違えたかが分かりますし、音楽でも、作曲したものが自分の思ったメロディにならなかった時に、どこで間違えたかを見つけるなど、自分の目指すものにアプローチする時に、どの段階で間違っていたか、どのように改善すればよいかを考える力を育てることです。それが分かりやすい形になるのが、Pepper くんを使った授業になるかと思しますので、プログラミング体験を有効に活用したいと考えています。

藤岡職務代理者 教育長の報告について、そのほかにご質問等ございませんか。

ご質問が無いようですので、次にまいります。

日程第4、議第1号、平成30年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会の設置についてを議題とします。

事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） それでは、資料ナンバー2をご覧ください。

議第1号、平成30年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会の設置について。

平成31年度使用小学校・中学校用教科図書の採択にあたって、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）及び教科用図書採択地区の設定（昭和43年4月26日岐阜県教育委員会告示第4号）に基づき、平成30年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会を設置することを議決するものとする。

平成30年4月25日提出、山県市教育委員会、教育長、伊藤正夫。

岐阜市を除く岐阜地域の市町の教育委員会で組織される協議会でありまして、毎年度設置について各市町教育委員会の議決が必要となりますので、平成30年度の設置について、山県市教育委員会の議決を求めるものであります。以上でございます。

藤岡職務代理者 ただ今の事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

藤岡職務代理者 ご意見等ございませんか。

それでは、ご意見がないようですので、お諮りいたします。

議第1号、平成30年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会の設置について、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

藤岡職務代理者 異議なしと認めまして、平成30年度岐阜県教科用図書岐阜地区採択協議会の設置についてを決定いたします。

続きまして、日程第5、議第2号、平成30年度山県市一般会計補正予算(教育予算)についてを議題とします。

事務局に説明を求めます。

事務局(恩田) それでは、資料ナンバー3をご覧ください。

議第2号、平成30年度山県市一般会計補正予算(教育予算)について。平成30年度一般会計予算(教育予算)の補正について、別紙のとおり市長に意見を申し出るものとする。

平成30年4月25日提出、山県市教育委員会、教育長、伊藤正夫。

このほど国と県の全額補助というかたちで、学校にスクールサポートスタッフを配置する事業を行いたいと思いますので、そのための補正予算になります。国から90万円、県から180万円の併せて270万円の補助金をいただき、全額をスクールサポートスタッフの賃金に充てます。高富小学校、富岡小学校、高富中学校に各1名、計3名を配置する予定であります。以上でございます。

藤岡職務代理者 ただ今、事務局からの説明につきまして、ご意見ご質問等ございましたら、お願いします。

大野委員 3名ということは、1人90万円、月額にして7万円ほどだと思いますが、就業形態はどのようなものになりますか。

学校教育課長 1日5時間を基本とし、授業のある日の年間200日、合計で年間1,000時間の勤務を考えています。子どもを支援するのではなくて、先生の事務的なところ、印刷をすとかテストの採点をすとかを支援して、勤務の適正化を図ることを目的とします。

教育長 教員の働き方改革を側面からバックアップするということになります。

学校教育課長 規模の大きい学校でないと効果が現れないので、今回の設置は3校とさせていただきます。

大野委員 事務に特化しているということで、子供の指導とかには関わらないということでもよろしいでしょうか。

学校教育課長 はい、そのとおりです。教員の免許を持っていなくてもできる仕事となります。

大野委員 人員の目星はついてますか。

学校教育課長 2人は確保できましたので、あと1人です。

教育長 この事業は県の方が募集しまして、希望したら採択されました。市の負担が無いものなので、どこの市町も希望すると思いますから、来年度も採択されるかどうかは分かりません。

藤岡職務代理者 ほかにご意見などございませんでしょうか。

それでは、ご意見がないようですので、お諮りいたします。

議第2号、平成30年度山口市一般会計補正予算（教育予算）について、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

藤岡職務代理者 異議なしと認めまして、平成30年度山口市一般会計補正予算（教育予算）についてを決定します。

続きまして、日程第6、その他の山口市教育委員会教育長職務代理者の指名について、事務局に説明を求めます。

事務局（恩田） 現在の藤岡教育長職務代理者は、5月14日で教育委員の任期が満了となるため、この日以降に教育長職務代理者が不在となりますので、本日、次の教育長職務代理者の方を決めたいと思います。

法律の規定により、教育長職務代理者は教育長の指名する委員となっておりますので、教育長の指名により教育長職務代理者を決定したいと思いますのでよろしく申し上げます。

なお、平成27年度第2回教育委員会会議での申合せ事項により、教育長職務代理者は、教育委員任期の最終年の方をお願いするとなっております。

教育長 今、事務局より説明のありましたとおりですので、次の教育長職務代理者を川田八重子委員をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

川田委員 はい、わかりました。

事務局（恩田） よろしくお願いいいたします。それでは、川田委員より一言ご挨拶をお願  
いいたします。

川田委員 ただ今、教育長より教育長職務代理者にご指名をいただきました。大き  
な任務を拝命いたしましたので、とても身の引き締まる思いがしております。  
山県市の教育行政推進のため、少しでもお役に立てるようがんばりたい  
と思いますので、よろしくお願いいいたします。

藤岡職務代理者 そのほかに、何かございますでしょうか。

生涯学習課長 生涯学習課長の土井です。あらためまして本年度から教育委員会に配属  
されましたので、よろしくお願いいいたします。お手元に本市の観光交流の  
推進と内外への情報提供ということで、企画財政課、まちづくり・企業支  
援課、生涯学習課の3課がそれぞれ作成しましたPR用のリーフレットを  
配布させていただきました。また、平成27年度から平成29年度にかけ  
て実施しました民俗文化財調査研究等事業の報告書も配布させていただきました。  
お時間のある時に目を通していただいて、お気づきの点等がござ  
いましたら、ご提言やご指導をいただけたらと思いますので、よろしくお  
願いいいたします。

藤岡職務代理者 以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたします。

これをもちまして、平成30年度第1回教育委員会を閉会いたします。

（午後2時05分閉会）

上記議事録は正当であることを認め署名します。

山県市教育委員会

教 育 長 伊藤 正夫

委 員 川田 八重子